



本号では第76回卒業証書授与式の様子をお伝えします。

「人生はマラソンである。」

159名の皆さん 御卒業おめでとうございます！

卒業にあたり、「人生はマラソンである。」という言葉をお贈りしたいと思います。私の趣味はマラソンなので、予餞会の餞の言葉集にも書いたメッセージです。

まず、マラソンは一気に走り抜くスプリント競技ではなく、長い距離を持続的に走り続けることが求められます。同様に、人生も短期間での成功ではなく、持続的な努力が必要です。皆さんは、常に目指す夢や目標を持ち、途中で挫折することなく「努力を継続する」ことが成功への鍵になります。

また、マラソンでは途中で困難や疲労に直面することがありますが、それらを乗り越えてゴールを目指します。人生も同様で、挫折や困難があっても諦めずに、時には休んでいいので、「困難や挫折を乗り越える心」を持つことが重要です。

マラソンは他のランナーや応援する人々と協力し、励まし合いながら走ります。人生も一人ではなく、周りの人々と協力し、支え合いながら歩いていくものです。友情や信頼は人生の中で非常に重要です。だからこそ、大切な友人や家族との絆を大切に、互いに助け合い、共に成長していくことが大切になります。

「努力を継続すること」「困難や挫折を乗り越える心を持つこと。」「一人ではなく、家族や友人と共に走り続けること。」この教訓を「人生はマラソンである。」という言葉に込めたいと思います。

最後に、皆さんが、夢を叶え幸せな人生を歩むことを願っています。

(第76回卒業証書授与式 式辞より)



在校生代表 送辞（一部抜粋）

肌を刺すような冷たい外気が和らぎ、吹く風も春の訪れを感じるこの頃、ご卒業される先輩方本当におめでとうございます。先輩方はこの三年間、コロナウイルスの影響を受けながらも、日常生活に戻ることができる喜びを感じられたと思います。2年生の修学旅行では、大変なことも沢山あったでしょうが、実施できた喜びでいっぱいだったと思います。朝6時半からの座禅も貴重な体験だったのではないのでしょうか。岩手の様々な自然に触れ、災害に関する学びも兼ねた観光を仲間と共に行い、楽しみながら自然や歴史、文化について学べたのではないかと思います。3年生の体育祭は、藍染のTシャツで揃え、学年対抗のリレー種目では、3年間バトンをつないだ経験が生かされる結果となり、総合優勝を勝ち取りました。農高祭では、1組は栽培した野菜や果物、草花を販売できるように調整し、販売しました。長蛇の列ができ、売り切れないか心配になりました。2組は3年間の集大成の卒業庭園。明るくて華やかで人にエネルギーを与える効果のある黄色をメインにした洋風庭園で、見た人に元気を与えてくれました。3組はスパイスの組み合わせも一から考案されたカレー、その努力が感じられ、とても美味しく満足感のあるものでした。4組のファッションショーは工夫をこらし、自ら製作した衣装をまとい、個性があふれ、とても輝いていました。5組は高級料亭のようなきれいな日本料理のお弁当を提供するレストランの運営、メニュー開発、試作を繰り返し、洗練されたお弁当に仕上げられていました。他の高校では触れることのない学習やその成果の発表を行い、私たちも刺激をもらいました。先輩方が卒業後に来られた際、農高を卒業したことを誇りに思っただけのような学校をつくりたいです。最後に卒業生の皆様のご健康とご活躍を祈り送辞とさせていただきます。

卒業生代表 答辞（一部抜粋）

冬の寒さが残る中、桜の蕾も色づき始め春の訪れを感じられる季節になりました。本日は私たちのために心のこもった卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。皆様から頂いたお祝いや激励のお言葉を胸に、本日、農業高校を卒業いたします。農業高校に入学した日から今日までの3年間は、本当にあつという間でした。共に学び笑いあった仲間たちとの時間はかけがえのないものです。充実した時間の中で、私たちは多くのことを経験しました。恵まれた学校生活がおくれたことに感謝しています。初めの頃はオンライン学習が行われる中、体育祭や科ごとの校外学習などで少しずつクラスメイトとの仲を深めていきました。そして、農業高校での一番の思い出は実習です。1年生の頃には見たことも触れたこともない道具や知識に驚き、慣れるのに必死でした。初めての農高祭も身につけた知識や技術を活かした。個性溢れる学びの発表の機会は、やはり他の学校と違うと実感しました。実習形式での授業を重ねていくことで専門的な知識・技術に加え自分の手で作る、味わう、売る、発表するといった経験を積むことができました。さらに課題研究などをやりきった経験、また仲間と協力して壁を乗り越えた思い出は将来私たちの背中を押してくれると信じています。これは絶対、私たちにしかできない強みであり、胸を張って言えるものです。4月からはそれぞれの新たな日常が始まります。私たちも頑張りますので、在校生のみなさんも頑張ってください。最後になりますが、3年間支えてくださった方々に心から感謝を申し上げます。また農業高校から夢を創造する農業、家庭のプロフェッショナルが生まれ続けること、さらに皆様の健康、活躍をお祈りして答辞といたします。